

留萌旭川速達便実証運行事業
検証結果
(案)

令和8年2月

留萌市

留萌市地域公共交通活性化協議会

目 次

第1章 実証運行の概要	1
1 目的	1
2 実施内容	1
3 実証運行期間	1
4 運行事業者	1
5 運行形態	1
6 運行区間及び運行経路	2
7 運行便数・運行日	3
8 所要時間	3
9 運行ダイヤ及び運賃	3
第2章 利用実績	5
1 利用実績（上り・下り別）	5
2 利用実績（自治体別）	6
3 1便当たり利用者数等	7
4 【参考】留萌旭川線利用実績	7
第3章 収支決算	8
1 収支決算の概要	8
2 市負担の状況	9
第4章 利用者アンケートの結果	10
1 調査目的	10
2 調査対象	10
3 調査方法	10
4 実施期間	10
5 回収結果	10
6 集計結果	11
第5章 効果検証・総括	22
1 検証の目的及び方法	22
2 検証結果	23
3 課題の整理	25
4 今後の対応の方向性	29
5 総括	29
参考資料	30
留萌旭川速達便利用者アンケート自由記載（全編）	30
留萌旭川速達便利用者アンケート調査票	38

第1章 実証運行事業の概要

1 目的

令和5年3月31日のJR留萌本線（留萌・石狩沼田間）の廃線後においては、既存のバス路線（留萌旭川線）により旭川方面への移動手段は一定程度確保されている。

一方、所要時間の増加や利用可能な時間帯の制約により、移動の利便性が低下している状況が見られる。

このため、JR留萌本線廃線後における旭川方面への移動環境の向上を図るため、速達性の向上を図りつつ、既存公共交通を補完する新たな交通手段の実証運行を通じて、持続可能な地域交通のあり方を検討することを目的とする。

2 実施内容

上記目的を踏まえ、高規格道路（留萌大和田IC経由）を活用し、旭川市への所要時間の短縮を図った「留萌旭川速達便（特急あさひかわ号）（以下「速達便」という。）」の実証運行を実施する。

本実証運行により、所要時間の短縮効果、利用状況、費用対効果等を把握し、速達便の導入可能性について検証する。

3 実証運行期間

令和5年度～令和7年度（3年間）

4 運行事業者

沿岸バス株式会社

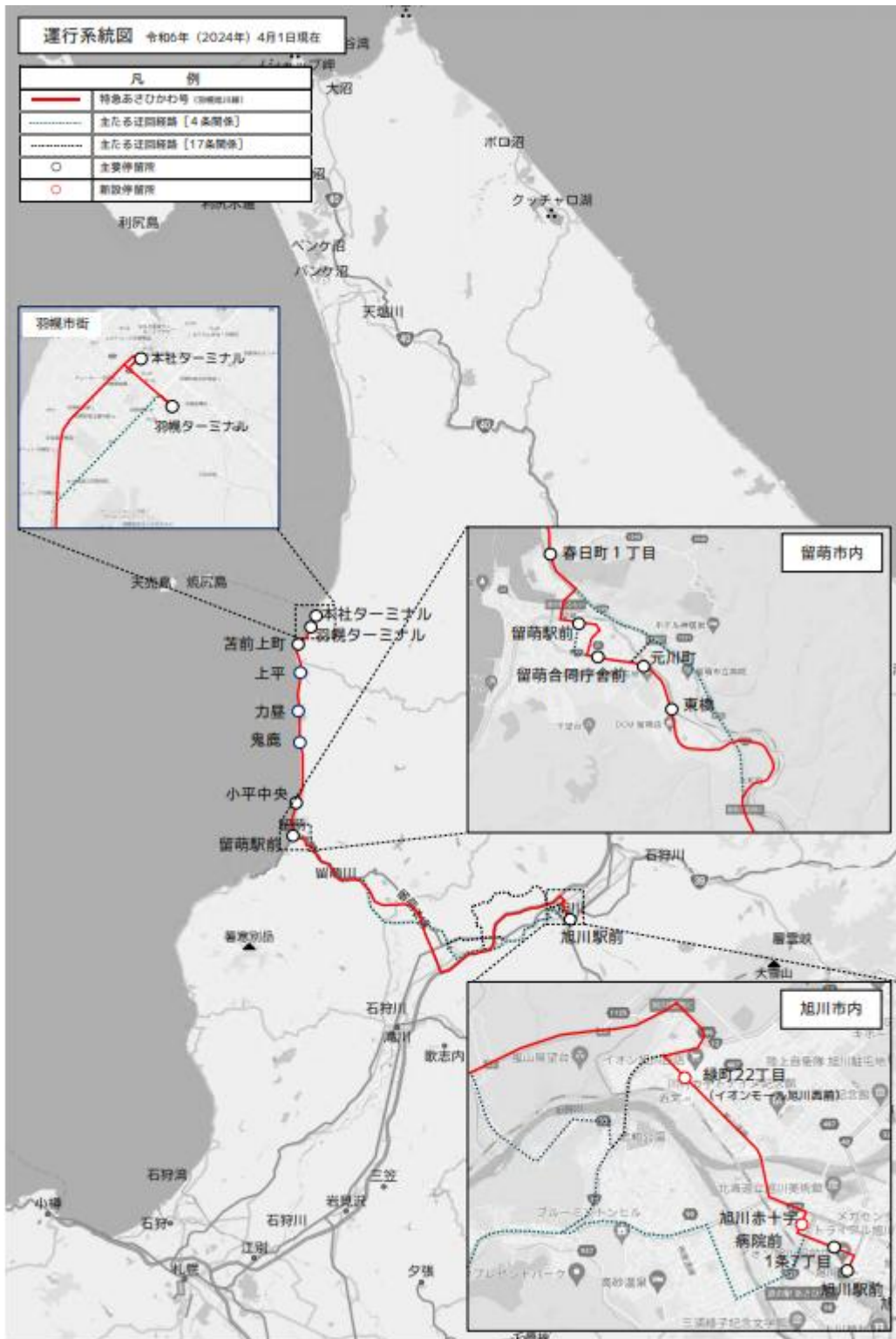
5 運行形態

定時定路線型（高速バス）

6 運行区間及び運行経路

羽幌ターミナル～旭川駅前 約 141km

留萌駅前～旭川駅前 約 90km



< 図 運行経路図 (出典：沿岸バスホームページ) >

7 運行便数・運行日

1日1往復2便、通年運行

8 所要時間

羽幌ターミナル～旭川駅前 約2時間35分

留萌駅前～旭川駅前 約1時間35分

9 運行ダイヤ及び運賃

(1) 上り（羽幌町発→旭川市着）

自治体名	停留所名	時刻	普通運賃 (キャッシュレス割)
羽幌町	羽幌ターミナル1のりば	7:50	3,500円
	本社ターミナル	7:52	(3,400円)
苫前町	苫前上町	8:00	3,300円 (3,200円)
	上平1のりば	8:06	
	力昼	8:11	
小平町	鬼鹿	8:20	2,800円 (2,720円)
	小平中央	8:37	2,400円 (2,330円)
留萌市	春日町1丁目	8:45	2,000円 (1,940円)
	留萌駅前1のりば	8:50	
	留萌合同庁舎前	8:53	
	元川町1のりば	8:55	
	東橋	8:57	
旭川市	緑町22丁目（イオンモール旭川西前）	10:09	↑
	旭川赤十字病院前	10:18	
	1条7丁目19のりば	10:21	
	旭川駅前	10:25	

※羽幌ターミナル～東橋は乗車のみ

※旭川市内は降車のみ

(2) 下り (旭川市発→羽幌町着)

自治体名	停留所名	時刻	普通運賃 (キャッシュレス割)
旭川市	旭川駅前バスタッチ 8 のりば	15:55	↓
	1 条 7 丁目 1 1 のりば	15:57	
	旭川赤十字病院前	16:02	
	緑町 2 2 丁目 (イオンモール 旭川西前)	16:10	
留萌市	東橋	17:23	2,000 円 (1,940 円)
	元川町 2 のりば	17:25	
	留萌合同庁舎前	17:27	
	留萌駅前 2 のりば	17:30	
	春日町 1 丁目	17:35	
小平町	小平中央	17:43	2,400 円 (2,330 円)
	鬼鹿	18:00	2,800 円 (2,720 円)
苫前町	力昼	18:09	3,300 円 (3,200 円)
	上平 2 のりば	18:14	
	苫前上町	18:20	
羽幌町	本社ターミナル	18:28	3,500 円
	羽幌ターミナル	18:30	(3,400 円)

※旭川市内は乗車のみ

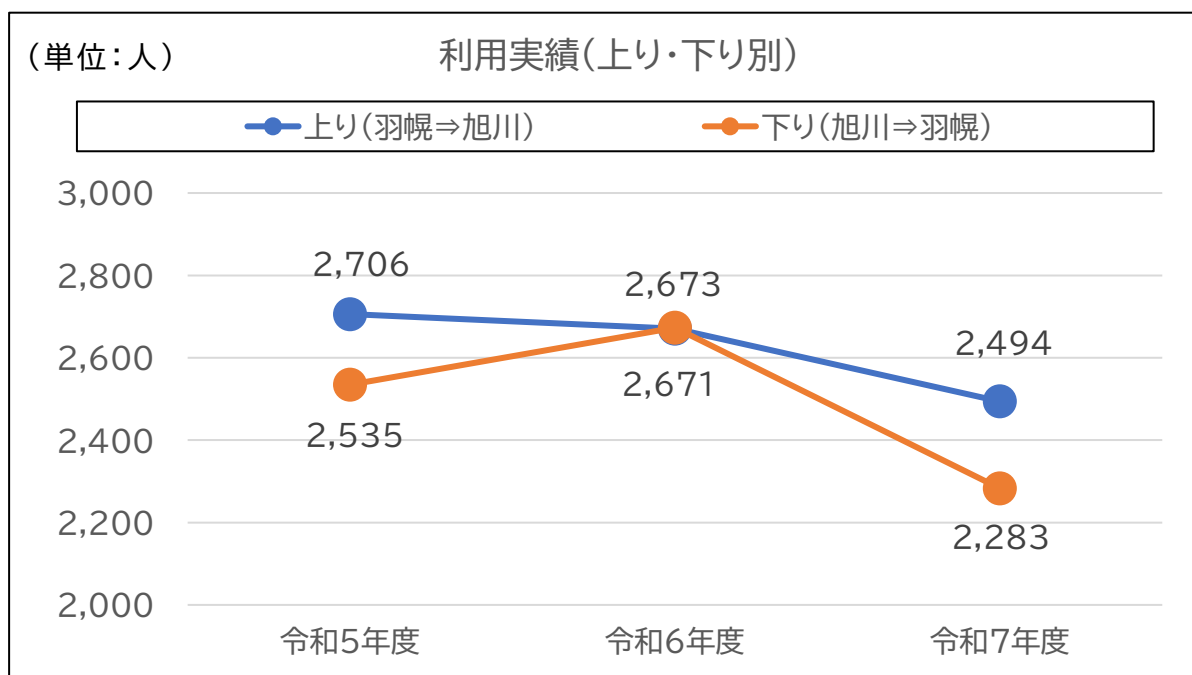
※東橋～羽幌ターミナルは降車のみ

第2章 利用実績

1 利用実績（上り・下り別）

- 令和5年度および令和6年度の利用者数は、それぞれ5,241人、5,344人となっており、概ね同水準で推移している。
- 上り（羽幌⇒旭川）と下り（旭川⇒羽幌）の利用者数を比較すると、各年度とも概ね均衡した利用状況となっており、特定方向への大きな偏りは認められない。
- 令和7年度は4月から12月までの実績であるが、前年同期を上回る水準で推移しており、通年換算した場合、令和5年度および令和6年度の実績を上回る水準となる可能性があることから、速達便の利用は一定程度定着しつつあると考えられる。

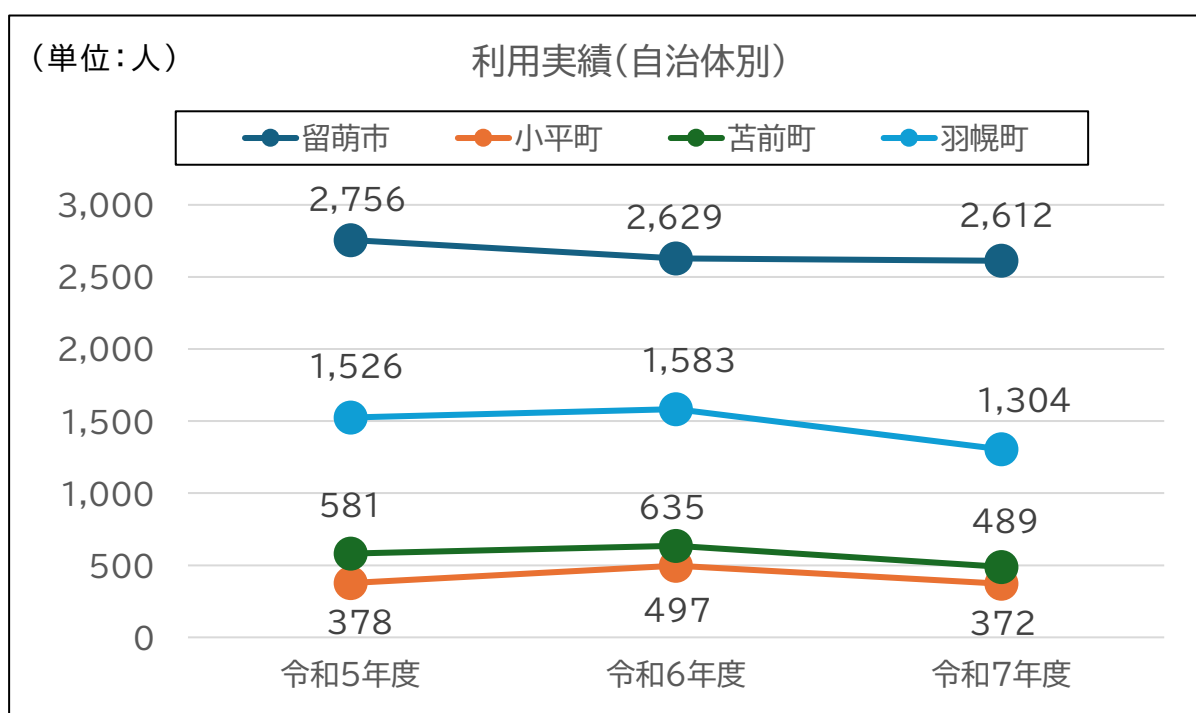
区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (4月～12月)
上り（羽幌⇒旭川）	2,706人	2,671人	2,494人
下り（旭川⇒羽幌）	2,535人	2,673人	2,283人
合 計	5,241人	5,344人	4,777人



2 利用実績（自治体別）

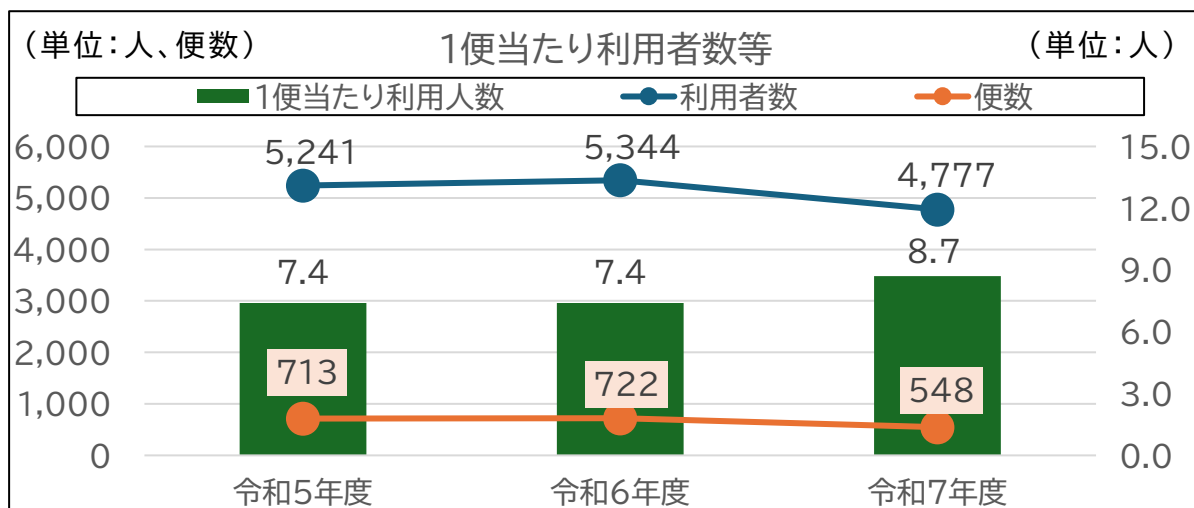
- 自治体別の利用者数をみると、留萌市の利用者は令和5年度2,756人、令和6年度2,629人、令和7年度（4月～12月）2,612人となっており、各年度とも全体の約5割を占めている。
- 一方で、小平町、苫前町および羽幌町を合わせた利用者数も全体の約5割を占めており、内訳として羽幌町が約3割、小平町および苫前町がそれぞれ約1割となっている。
- 以上のことから、速達便は留萌市民を中心としつつ、留萌市以外の自治体からの利用も一定規模存在しており、留萌管内における広域的な移動需要に一定程度対応している状況が確認され、速達便が管内における移動手段の一つとして利用されている実態が示された。

区分	令和5年度		令和6年度		令和7年度 (4月～12月)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
留萌市	2,756人	52.6%	2,629人	49.2%	2,612人	54.7%
小平町	378人	7.2%	497人	9.3%	372人	7.8%
苫前町	581人	11.1%	635人	11.9%	489人	10.2%
羽幌町	1,526人	29.1%	1,583人	29.6%	1,304人	27.3%
合計	5,241人	100.0%	5,344人	100.0%	4,777人	100.0%



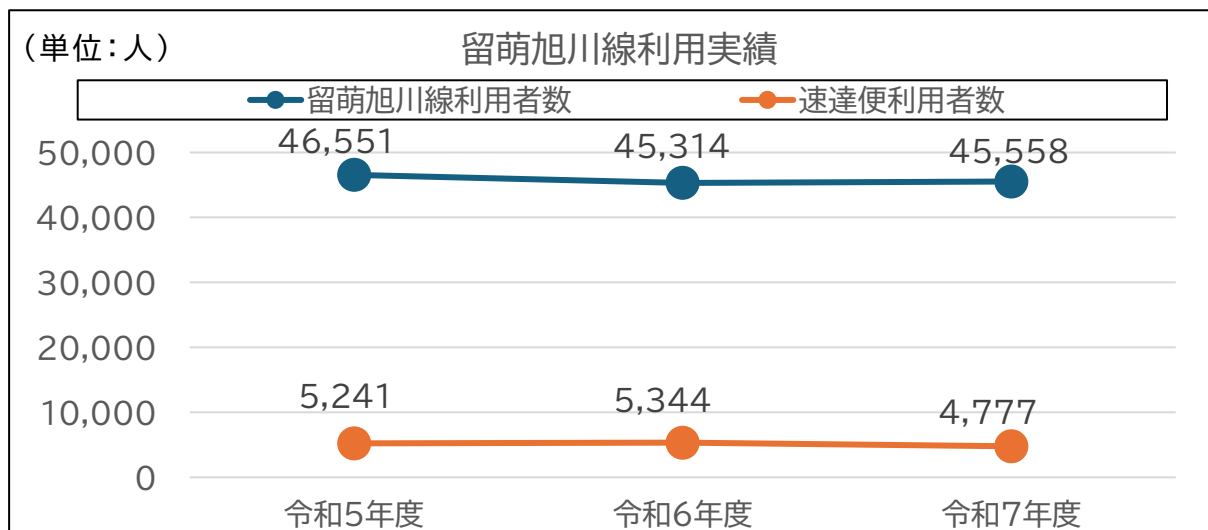
3 1便当たり利用者数等

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (4月～12月)
利用者数	5,241人	5,344人	4,777人
便 数	713便	722便	548便
1便当たり利用人数	7.4人	7.4人	8.7人



4 【参考】留萌旭川線利用実績

区 分	令和5年度 (R4.10～R5.9)		令和6年度 (R5.10～R6.9)		令和7年度 (R6.10～R7.9)	
	利用者数	割合	利用者数	割合	利用者数	割合
留萌旭川線 利用者数	46,551人	89.9%	45,314人	89.5%	48,558人	91.0%
速達便利用者数	5,241人	10.1%	5,344人	10.5%	4,777人	9.0%

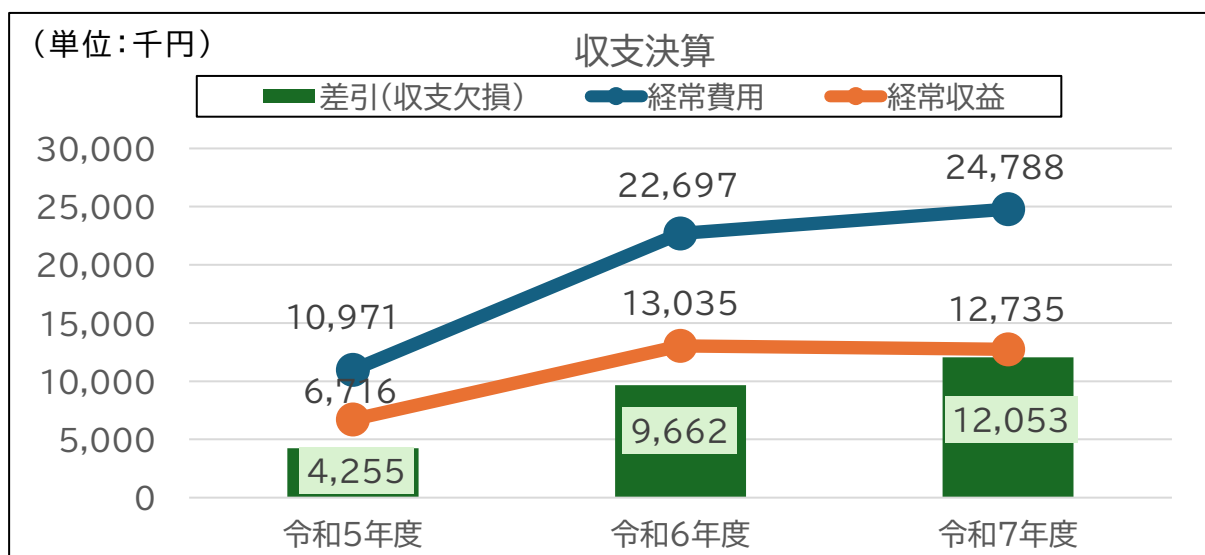


第3章 収支決算

1 収支決算の概要

- 経常費用および経常収益は、令和5年度において他の年度と比較して半額程度となっているが、これは令和5年4月から運行を開始したことにより、半年分のみの実績となったことによるものである。
- 令和6年度と令和7年度を比較すると、経常費用は増加しているが、その要因として、燃料費や人件費等の運行関連経費の上昇に加え、運行回数の増加等が影響していると考えられる。
- 経常収益については、一定の利用が確保されているものの、経常費用を下回る水準で推移しており、1便当たりの利用者数が想定水準に達していないことから、令和7年度時点において収支欠損が生じている。
- 以上のことから、速達便は一定の利用需要に支えられている一方で、利用規模が収益確保に必要な水準に達しておらず、運行費用が収益を上回る状況が継続していることから、現行の運行形態では、継続的な財政負担を伴う収支構造にあることが確認される。

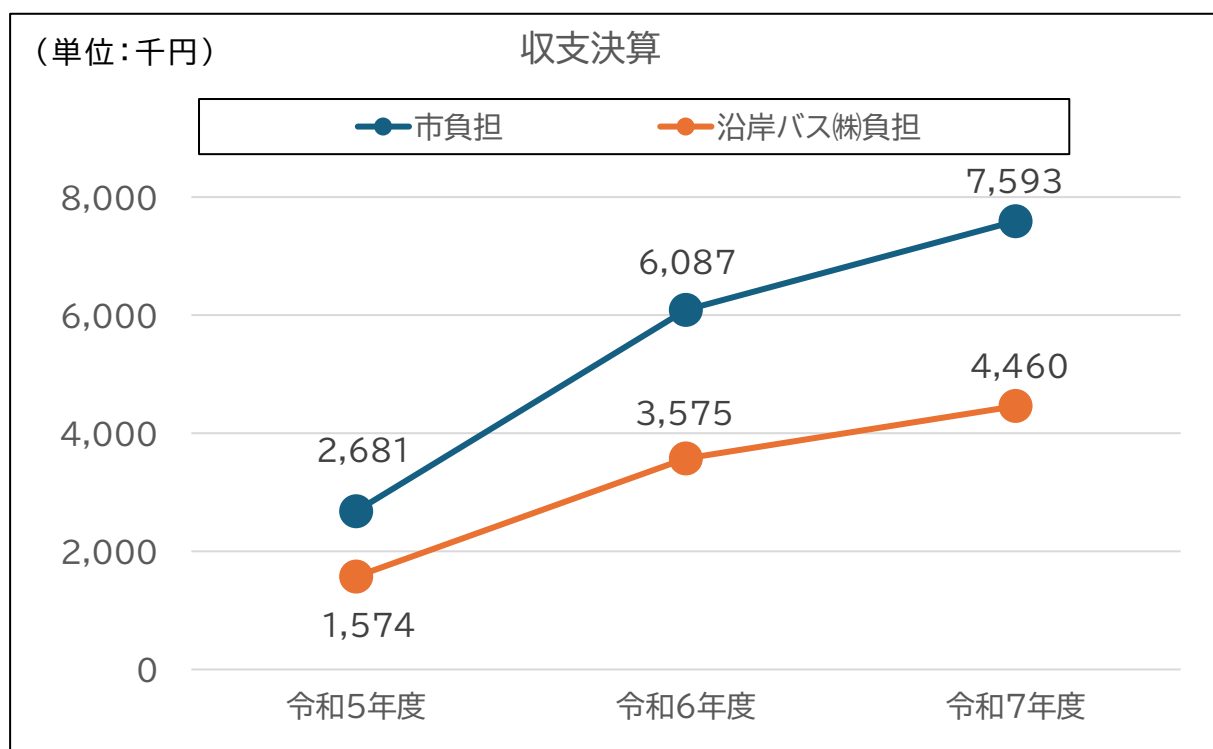
区 分	令和5年度 (R5.4～R5.9)	令和6年度 (R5.10～R6.9)	令和7年度 (R6.10～R7.9)
経常費用	10,971,336 円	22,697,688 円	24,788,636 円
経常収益	6,715,465 円	13,034,929 円	12,735,433 円
差 引 (収支欠損)	4,255,871 円	9,662,759 円	12,053,203 円



2 市負担の状況

- 実証運行期間中（令和5年度から令和7年度）の収支欠損については、路線延長に基づく負担区分の考え方により、羽幌町から旭川市までの140.6kmのうち、留萌市から旭川市までの89.8km（63%）分を留萌市が、残る50.8km（37%）分を沿岸バス㈱が負担することで、路線を維持している。
- 実証運行期間終了後は、黒字路線化による沿岸バス㈱単独での路線維持を想定していたが、運行費用が収益を上回る状況が継続しており、利用状況や収支構造を踏まえると、現行の運行形態のままでは黒字化の実現は容易ではない状況にある。
- これまで留萌市と沿岸バス㈱の費用負担により路線を維持してきたが、今後、沿岸バス㈱による継続的な費用負担は困難であることから、路線を維持する場合には、新たな費用負担の在り方や沿線自治体等による費用負担について検討する必要がある。

区分	負担割合	令和5年度 (R5.4~R5.9)	令和6年度 (R5.10~R6.9)	令和7年度 (R6.10~R7.9)
市負担	63%	2,681千円	6,087千円	7,593千円
沿岸バス㈱負担	37%	1,574千円	3,575千円	4,460千円
計	100%	4,255千円	9,662千円	12,053千円



第4章 利用者アンケートの結果

1 調査目的

本調査は、JR 留萌本線（留萌・石狩沼田間）の廃線に係り、新たな交通体系の一環として、旭川への速達性を高めることを目的に、1日1往復、実証運行している「留萌旭川速達便（特急あさひかわ号）」について、実証運行期間が令和7年度末までとなっていることから、利用実態や利用者の満足度、今後の利用意向等を把握し、次年度以降の路線継続の可否を判断するための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査対象

留萌旭川速達便利用者

3 調査方法

調査票の車内配布及び調査票内のQRコードによるアンケート方式。

4 実施期間

令和7年9月16日（火） から 令和7年10月31日（金）まで

5 回収結果

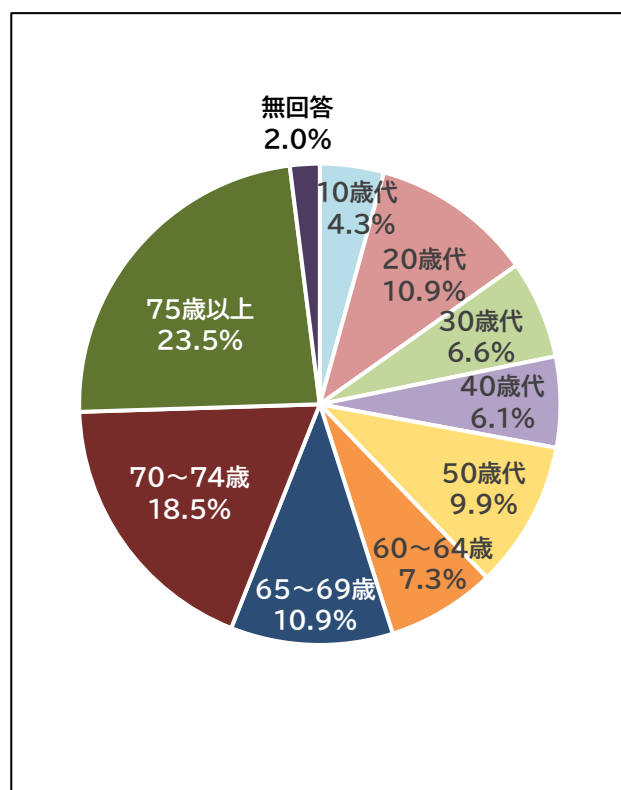
回収数 395件

6 集計結果

■ 属性について

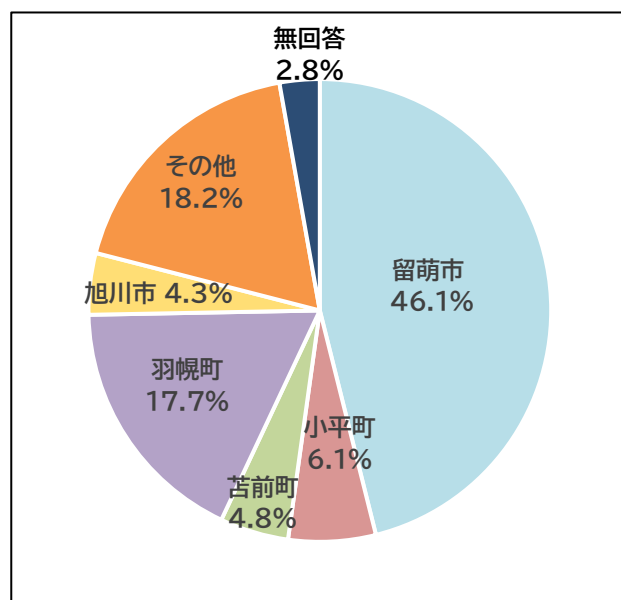
問1. ご年齢を教えてください。

選択肢		回答数 (人)
1	10歳代	17
2	20歳代	43
3	30歳代	26
4	40歳代	24
5	50歳代	39
6	60～64歳	29
7	65～69歳	43
8	70～74歳	73
9	75歳以上	93
無回答		8
合計		395



問2. お住いを教えてください。

選択肢		回答数 (人)
1	留萌市	182
2	小平町	24
3	苫前町	19
4	羽幌町	70
5	旭川市	17
6	その他	72
無回答		11
合計		395

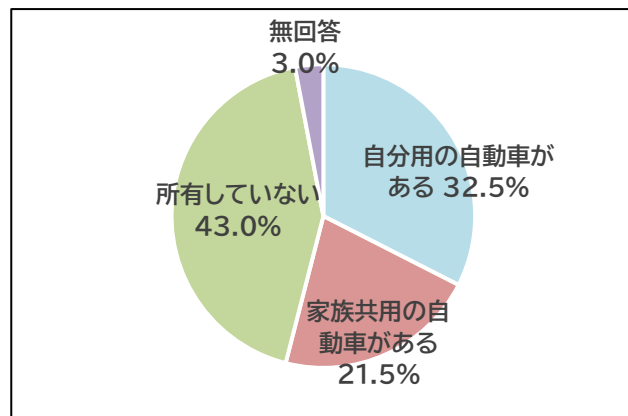


その他（住まい）

- 増毛町
- 初山別村
- 遠別町 等

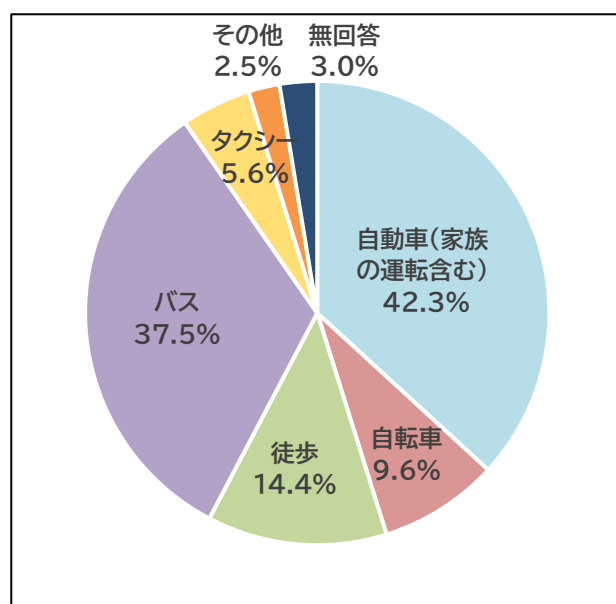
問 3. 自動車を所有していますか。

選択肢		回答数 (人)
1	自分用の自動車がある	128
2	家族共用の自動車がある	85
3	所有していない	170
無回答		12
合計		395



問 4. 外出する際の主な移動手段を教えてください。(複数回答)

選択肢		回答数 (人)
1	自動車(家族の運転含む)	167
2	自転車	38
3	徒歩	57
4	バス	148
5	タクシー	22
6	その他	10
無回答		12
合計		454

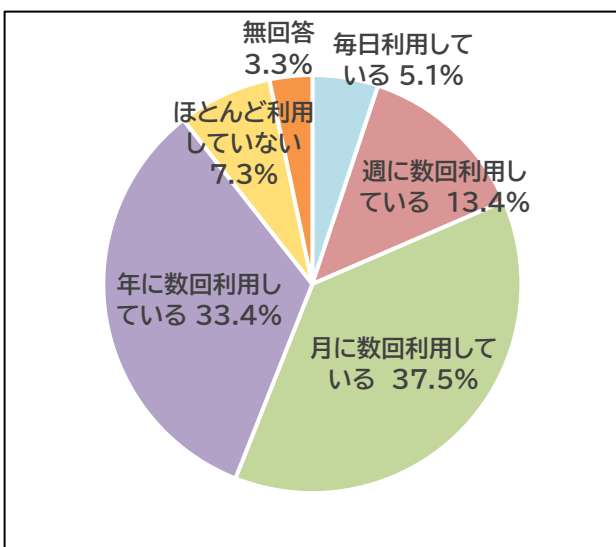


その他(移動手段)

電車(鉄道)

問 5. 普段からバス(本路線以外を含む)を利用していますか。

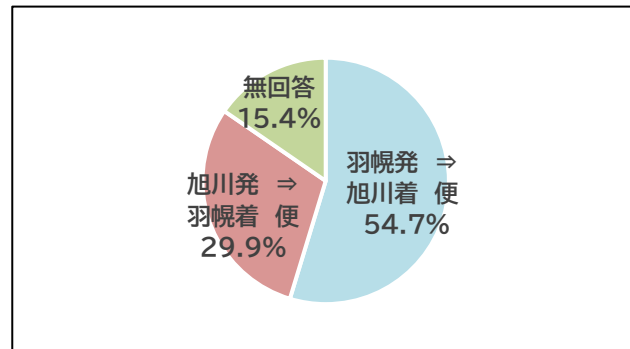
選択肢		回答数 (人)
1	毎日利用している	20
2	週に数回利用している	53
3	月に数回利用している	148
4	年に数回利用している	132
5	ほとんど利用していない	29
無回答		13
合計		395



■ 留萌旭川速達便について

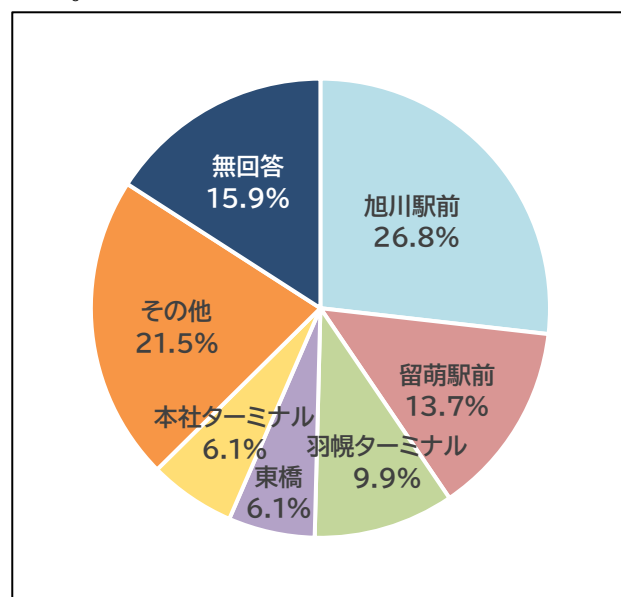
問6. 今回、利用された路線を教えてください。

選択肢		回答数 (人)
1	羽幌発 ⇒ 旭川着 便	216
2	旭川発 ⇒ 羽幌着 便	118
無回答		61
合計		395



問7. 今回、乗車した停留所名を教えてください。

選択肢		回答数 (人)
1	旭川駅前	106
2	留萌駅前	54
3	羽幌ターミナル	39
4	本社ターミナル	24
5	東橋	24
6	その他	85
無回答		63
合計		395

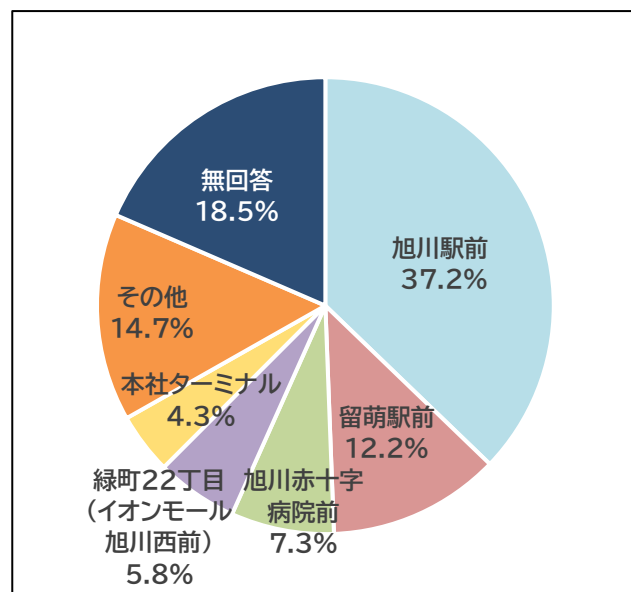


その他（移動手段）

- 留萌合同庁舎前
- 元川町
- 苫前上町

問 8-1. 降車予定の停留所名を教えてください。

選択肢		回答数 (人)
1	旭川駅前	147
2	留萌駅前	48
3	旭川赤十字病院前	29
4	緑町 2 2 丁目 (イオンモ ール旭川西前)	23
5	本社ターミナル	17
6	その他	58
無回答		73
合計		395

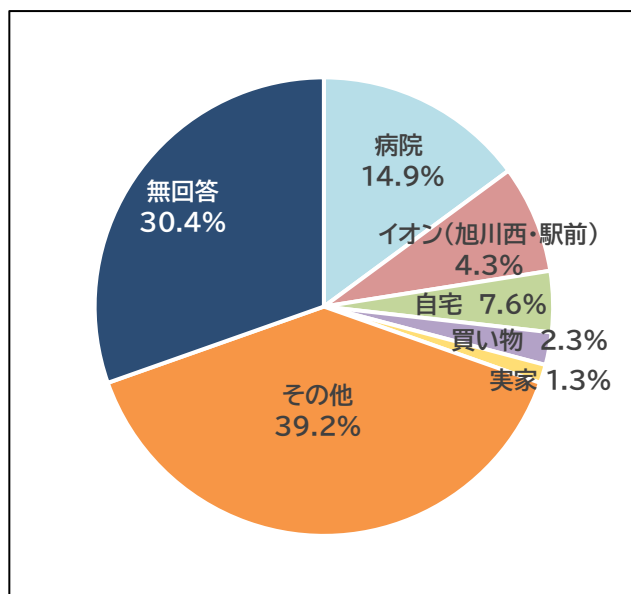


その他

- 1 条 7 丁目
- 元川町
- 羽幌ターミナル

問 8-2. 目的地を教えてください。

選択肢		回答数 (人)
1	病院	59
2	自宅	30
3	イオン (旭川西・駅前)	17
4	買い物	9
5	実家	5
6	その他	155
無回答		120
合計		395

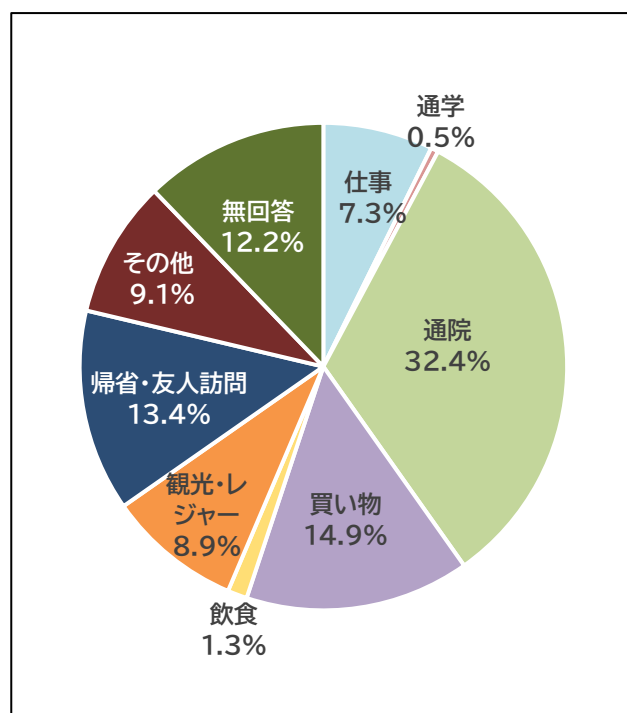


その他

- 旭川市
- 留萌市
- 羽幌町

問 9. 今回、主にどのような目的で利用されましたか。

選択肢		回答数 (人)
1	仕事	29
2	通学	2
3	通院	128
4	買い物	59
5	飲食	5
6	観光・レジャー	35
7	帰省・友人訪問	53
8	その他	36
無回答		48
合計		395

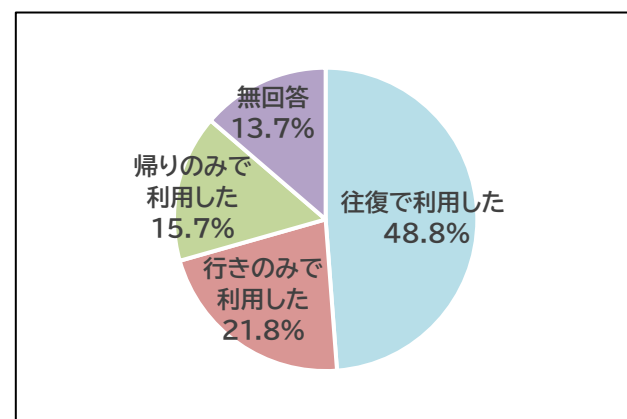


その他

- お見舞い
- 墓参り
- 帰宅

問 10. 今回、往復で利用されましたか。(利用の予定も含む)

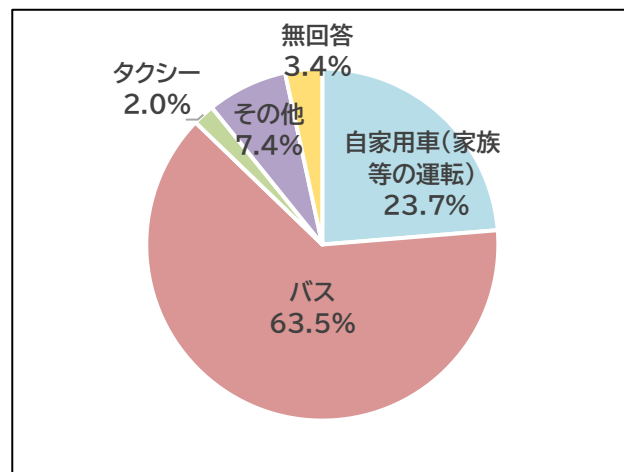
選択肢		回答数 (人)
1	往復で利用した	193
2	行きのみで利用した	86
3	帰りのみで利用した	62
無回答		54
合計		395



問 1 1-1. 問 1 0 で②又は③を選択された方にお伺いします。

もう一方の移動手段を教えてください。

選択肢		回答数 (人)
1	自家用車（家族等の運転）	35
2	バス	94
3	タクシー	3
4	その他	11
無回答		5
合計		148



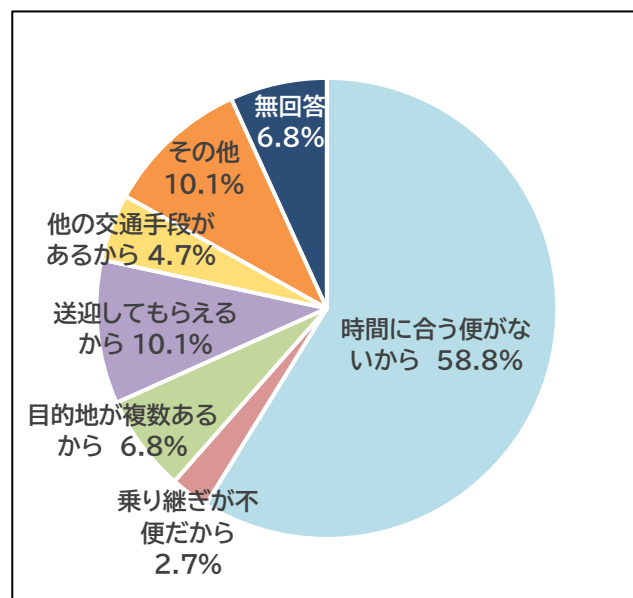
その他

- J R
- レンタカー

問 1 1-2. 問 1 0 で②又は③を選択された方にお伺いします。

往復で利用していない理由を教えてください。

選択肢		回答数 (人)
1	時間に合う便がないから	87
2	乗り継ぎが不便だから	4
3	目的地が複数あるから	10
4	送迎してもらえないから	15
5	他の交通手段があるから	7
6	その他	15
無回答		10
合計		148

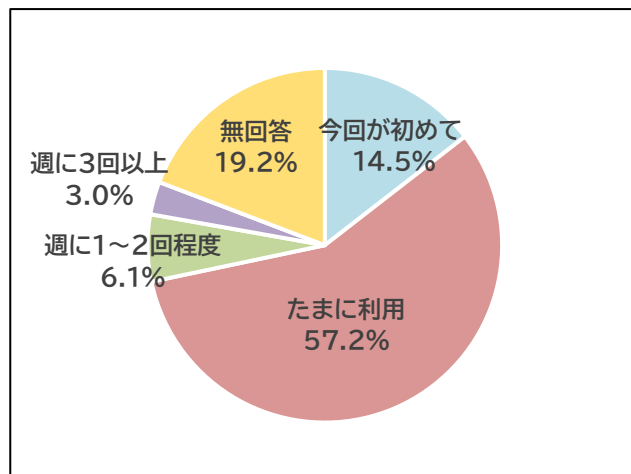


その他

- 帰宅の時間が決まっていないから
- 普通便で帰るから

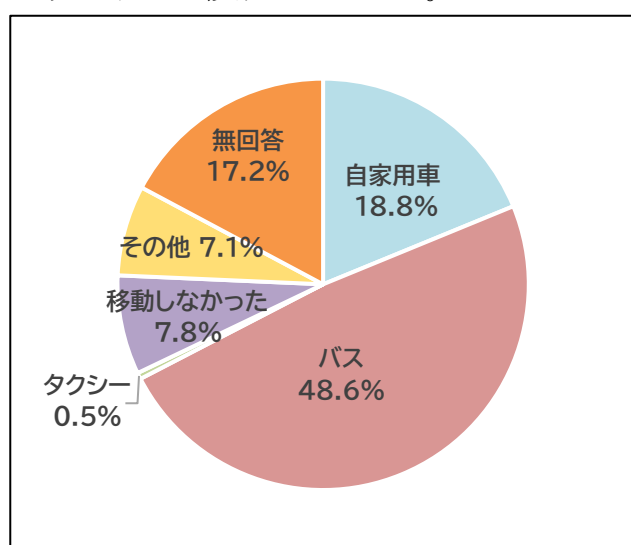
問 1 2 . この路線の利用頻度を教えてください。

選択肢		回答数 (人)
1	今回が初めて	57
2	たまに利用	226
3	週に 1 ~ 2 回程度	24
4	週に 3 回以上	12
無回答		76
合計		395



問 1 3 . この路線がなかった場合、代わりにどのような手段で移動しましたか。

選択肢		回答数 (人)
1	自家用車	74
2	バス	192
3	タクシー	2
4	移動しなかった	31
5	その他	28
無回答		68
合計		395

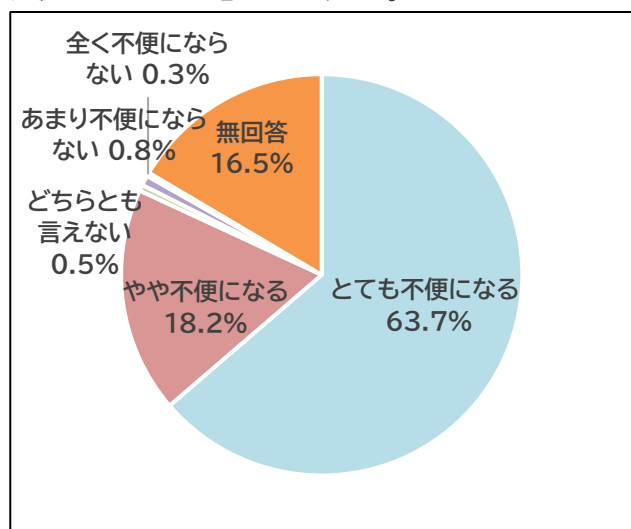


その他

- レンタカー
- J R

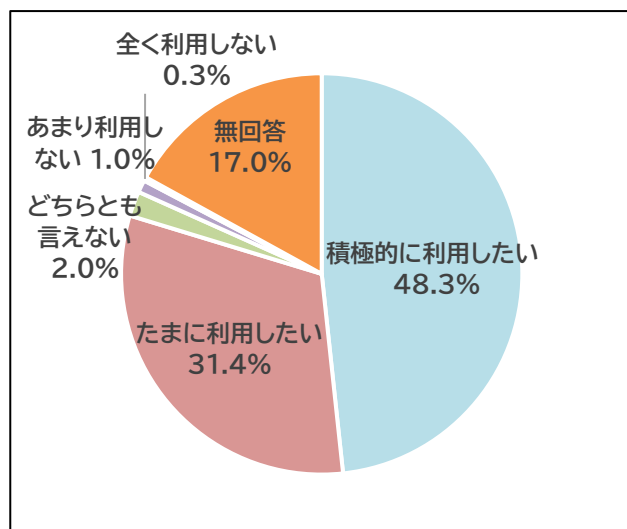
問 1 4 . 今後、この路線がなくなった場合、不便になると感じますか。

選択肢		回答数 (人)
1	とても不便になる	252
2	やや不便になる	72
3	どちらとも言えない	2
4	あまり不便にならない	3
5	全く不便にならない	1
無回答		65
合計		395



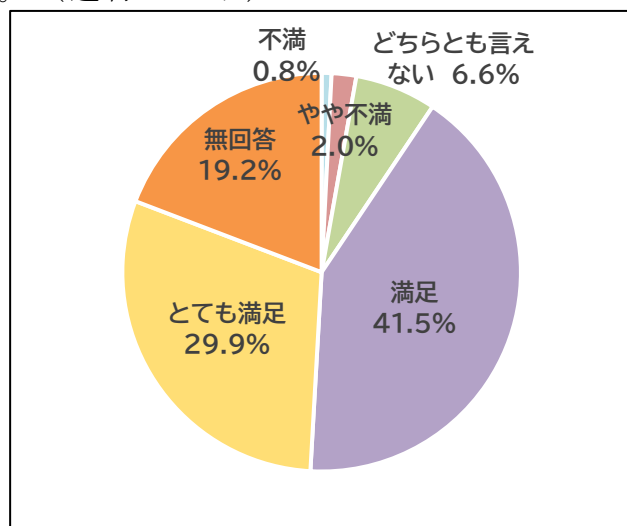
問 1 5 . この路線の今後の利用意向について教えてください。

選択肢		回答数 (人)
1	積極的に利用したい	191
2	たまに利用したい	124
3	どちらとも言えない	8
4	あまり利用しない	4
5	全く利用しない	1
無回答		67
合計		395



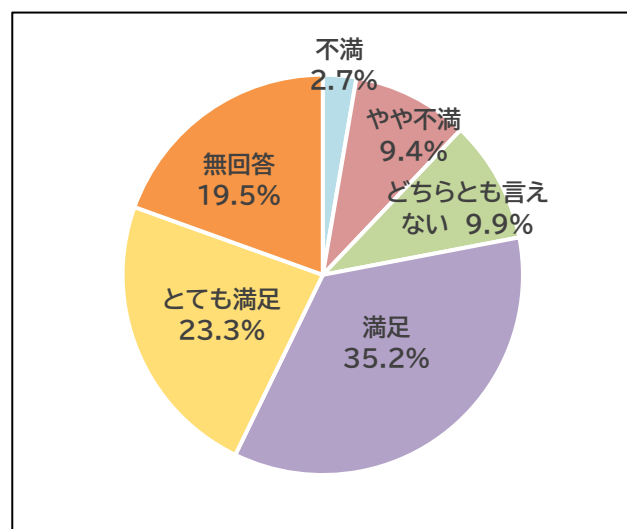
問 1 6 . この路線の満足度を教えてください。(運行ルート)

選択肢		回答数 (人)
1	不満	3
2	やや不満	8
3	どちらとも言えない	26
4	満足	164
5	とても満足	118
無回答		76
合計		395



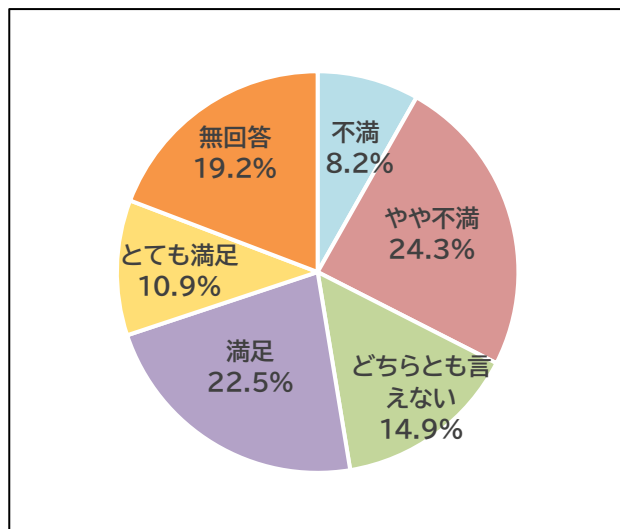
問 1 6 . この路線の満足度を教えてください。(運行時間帯)

選択肢		回答数 (人)
1	不満	11
2	やや不満	37
3	どちらとも言えない	39
4	満足	139
5	とても満足	92
無回答		77
合計		395



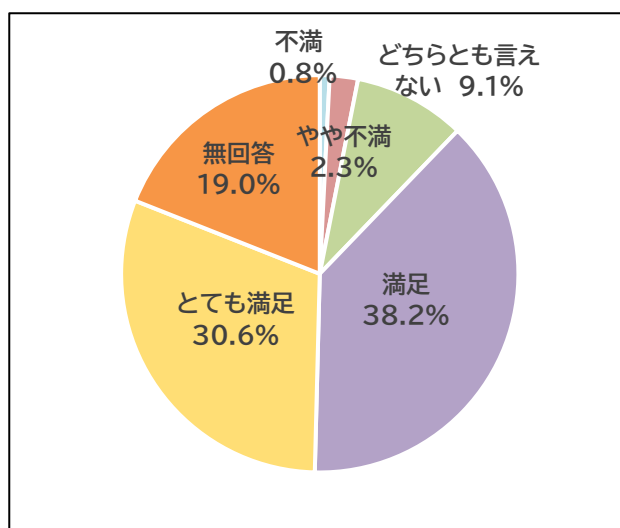
問 1 6 . この路線の満足度を教えてください。(運行便数)

選択肢		回答数 (人)
1	不満	32
2	やや不満	96
3	どちらとも言えない	59
4	満足	89
5	とても満足	43
無回答		76
合計		395



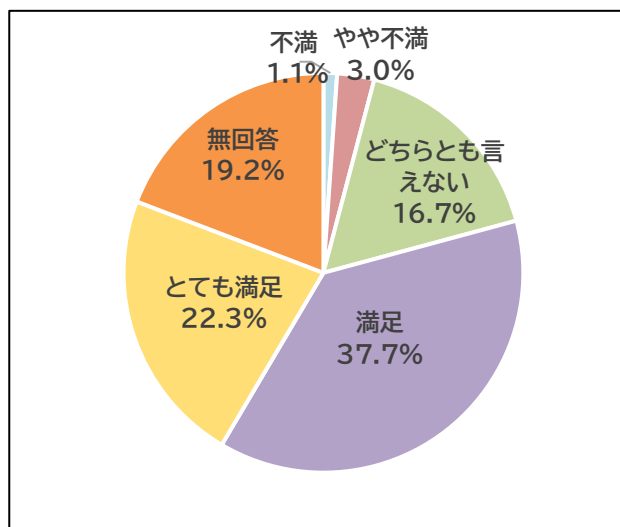
問 1 6 . この路線の満足度を教えてください。(所要時間)

選択肢		回答数 (人)
1	不満	3
2	やや不満	9
3	どちらとも言えない	36
4	満足	151
5	とても満足	121
無回答		75
合計		395



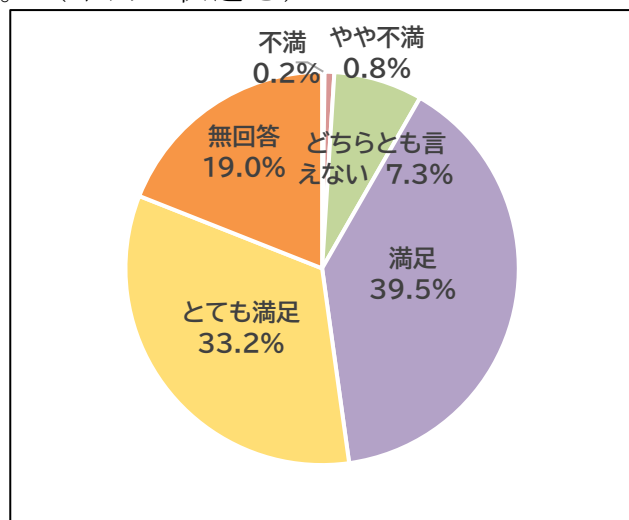
問 1 6 . この路線の満足度を教えてください。(運賃)

選択肢		回答数 (人)
1	不満	4
2	やや不満	12
3	どちらとも言えない	66
4	満足	149
5	とても満足	88
無回答		76
合計		395



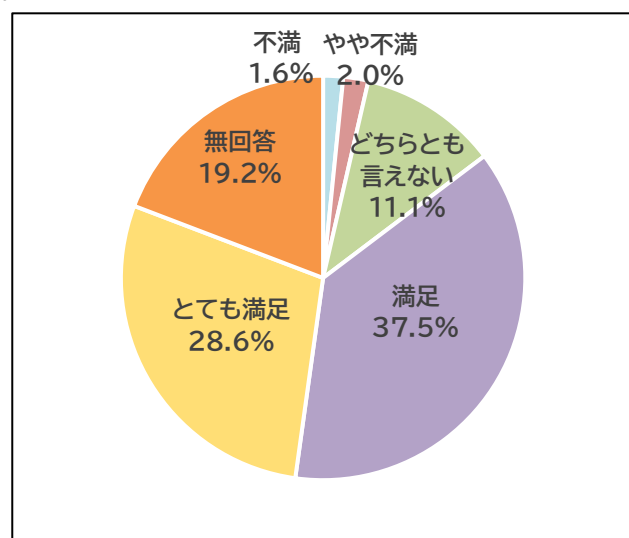
問 16. この路線の満足度を教えてください。(車内の快適さ)

選択肢		回答数 (人)
1	不満	1
2	やや不満	3
3	どちらとも言えない	29
4	満足	156
5	とても満足	131
無回答		75
合計		395



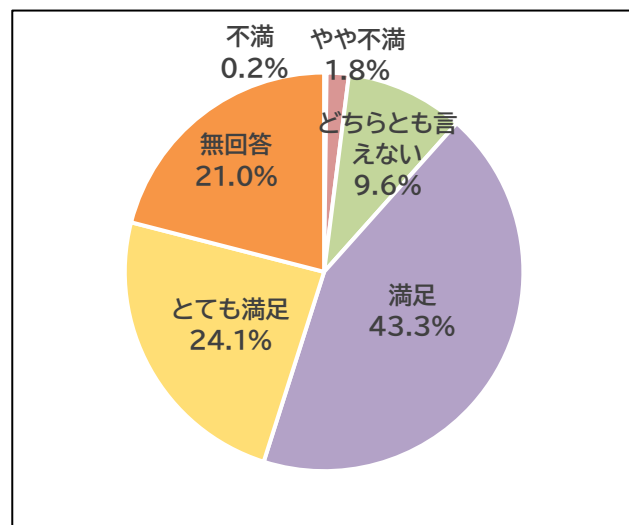
問 16. この路線の満足度を教えてください。(利用しやすさ)

選択肢		回答数 (人)
1	不満	6
2	やや不満	8
3	どちらとも言えない	44
4	満足	148
5	とても満足	113
無回答		76
合計		395



問 16. この路線の満足度を教えてください。(総合満足度)

選択肢		回答数 (人)
1	不満	1
2	やや不満	7
3	どちらとも言えない	38
4	満足	171
5	とても満足	95
無回答		83
合計		395



問 17. この路線について、改善してほしい点やご要望、ご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。

※本欄は「留萌旭川速達便」に関する意見の一部を抜粋し、全編はP30「参考資料」に記載。

■自由記載

区分	内容
便数	便数を増やしてほしい。
	現状では厳しいとは思いますが、運行本数を1日2往復の体制にするとより使いやすくなるのではないかと思います。
ダイヤ	復路便の時間を17:00台などもう少し遅くしていただくと出張等で利用しやすくなります。休日であればショッピングやレジャーにも利用が増えると思います。
	旭川医大に行くとき、旭川市バスへの乗り換えバスまで走って行っても間に合わないことがある。
路線	留萌市内（開運町、錦町、十字街等）でも乗車できるとありがたいです。
	旭川便（快速）の乗車場所を増やしてほしい（遠別発着便）
継続	いつも帰省の時に利用しています。エアドゥ昼の便からの接続がいいのでなくなるとかなりきついです。
その他	往復割引があっても良いのでは。
	機械での支払いは時間がかかり降車時に人が並びます。バスの乗り継ぎに間に合うか心配です。

問 18～問 20 は公共交通全般に関する設問のため省略。

第5章 効果検証・総括

1 検証の目的及び方法

本実証運行は、J R 留萌本線廃線後において、旭川方面への移動環境の向上効果や、既存公共交通を補完する新たな交通手段の有効性および課題を明らかにし、今後の持続可能な地域交通のあり方を検討する上での基礎資料とすることを目的として実施したものである。

実証期間（令和5年度から令和7年度まで）における運行実績について、利用実績、利用者アンケート及び社会的影響の観点から整理・分析を行い、次の事項について検証を行った。

- ① 旭川方面への移動環境向上及び既存交通手段への補完効果
- ② 速達便の利用実態及び需要構造
- ③ 持続可能な運行形態及び広域的な制度設計

2 検証結果

(1) 旭川方面への移動環境向上及び既存交通手段への補完効果

- 既存の留萌旭川線では留萌市から旭川市までの所要時間が約 2 時間 20 分であったが、速達便の導入により 1 時間 35 分に短縮され、移動時間の大幅な削減が確認された。
- 利用者アンケートによると、「満足」以上の回答が 85.3%、また「路線がなくなったら不便になる」と回答した割合は 98.2%に上り、速達便に対する強いニーズが示されている。
- 速達便の導入により、通院や買物など日常生活に関わる移動の利便性が向上しており、所要時間の短縮によって利用者の移動効率が高まっていることがうかがえる。
- 以上のことから、速達便は廃線後の旭川方面への移動において所要時間の短縮など利便性を高め、利用者の生活基盤を支える重要な交通手段として機能していると評価できる。

■ 評価

以上の結果から、速達便は J R 留萌本線廃線後における旭川方面への移動において、既存路線と比べて所要時間を大幅に短縮し、移動効率を高める効果が確認された。

また、利用者アンケートでは高い満足度と継続利用意向が示されており、通院や買物など日常生活に直結する移動の利便性向上に寄与し、既存公共交通を補完する役割があることが明らかとなった。

これらのことから、速達便は地域住民の生活基盤を支える重要な交通手段として一定の役割を果たしていると評価できる。

(2) 速達便の利用実態及び需要構造

- 利用目的別にみると、通院が最も多く、次いで買物が多い状況にあり、日常生活の維持に必要な移動需要として機能している。
- 自治体別の利用者数をみると、各年度とも留萌市の利用者が最も多く、全体の約5割を占めている。一方で、小平町、苫前町および羽幌町の利用者数も一定規模で推移しており、留萌市以外の自治体からの利用需要も相当程度存在している。
- また、沿線自治体や管内の沿線外自治体からの利用実態も確認されており、路線の継続を求める意見も寄せられている。
- さらに、利用者の居住地および利用目的の分布から、速達便は特定の自治体や利用層に限定された交通手段ではなく、留萌市を中心としつつ管内複数自治体にまたがる移動需要に対応する交通手段であることが確認される。
- 以上のことから、速達便は当初想定した留萌市民の利用に加え、沿線自治体等からの利用も一定程度取り込んでおり、留萌市を中心とする管内全体の広域的な移動需要に支えられる利用構造となっていると評価できる。

■ 評価

以上の結果から、速達便はJR留萌本線廃線後における旭川方面への移動手段として一定の利用需要が確認され、留萌市民に加え、沿線自治体等からの利用も一定程度見られるなど、広域的な移動手段としての役割を一定程度果たしていると評価できる。

一方で、運行費用が収益を上回る状況が継続しており、また、利用実態と費用負担の構造に乖離が生じていることが明らかとなった。

このため、速達便を留萌市単独の交通施策として捉えるのではなく、管内全体の移動需要に基づく広域的な交通手段として位置付ける視点が必要である。

(3) 持続可能な運行形態及び広域的な制度設計

- 収支決算の状況を見ると、令和5年度から令和7年度にかけて経常費用は増加する一方、経常収益は費用を下回る水準で推移しており、現行の運行形態及び制度設計の下では、収支欠損が継続している。
- 実証運行期間中の収支欠損は、留萌市が運行距離の約63%分を負担し、残りを沿岸バス(株)が負担することで路線維持が可能であったが、今後は沿岸バス(株)単独での維持は困難であるため、新たな費用負担の在り方を検討する必要がある。
- 利用実態を見ると、留萌市民に加え沿線自治体等からの利用も一定程度確認されており、速達便は留萌市単独ではなく、管内全体の移動需要に支えられる広域的な交通手段として位置付けることが妥当な利用構造となっている。
- 以上のことから、速達便を現行の形で継続する場合、運行費用と利用実態を踏まえた制度設計や費用負担の見直しが不可欠であり、広域交通として制度化する必要性が示された。

■ 評価

以上の結果から、速達便は現行の運行形態において収支欠損が継続しているものの、留萌市民に加え沿線自治体等からの利用も一定程度確認されており、管内全体の移動需要に支えられる広域的な交通手段としての性格を持つことがうかがえる。

今後、現行の形で運行を継続する場合は、運行費用と利用実態を踏まえた制度設計や費用負担の見直しが不可欠であり、広域的な交通手段として制度化する必要性が示されている。

3 課題の整理

実証期間における運行実績、利用者意見及び関係事業者へのヒアリング結果を踏まえ、今後の事業継続に向けて対応すべき主な課題を、次のとおり整理する。

- ① 収支及び費用負担の構造的課題
- ② 広域的運営体制の構築に関する課題
- ③ 現行サービス水準のあり方に関する課題

課題1 収支及び費用負担の構造的課題

(1) 課題の概要

- 速達便は一定の利用需要が確認されているものの、運行費用が収益を上回る状況が継続しており、現行の運行形態では構造的な収支欠損が生じている。
- 実証運行期間中は留萌市及び沿岸バス(株)の負担により路線を維持してきたが、同様の負担構造を今後も継続することは、事業の持続性の観点から困難な状況にある。
- このため、現行の費用負担の枠組みのままでは、速達便の安定的な継続が困難となる可能性がある。

(2) 背景・原因

- 速達便は当初、留萌市民の利用を主眼として制度設計されたが、実際には留萌市以外の自治体からの利用も一定程度発生しており、路線の性格は広域的な交通手段へと変化している。
- 一方で、事業の制度設計は留萌市単独事業を前提としており、広域的な利用実態に対応した費用負担の枠組みが十分に整理されていない。
- このため、利用実態と制度上の位置付けとの間に乖離が生じている。

(3) 対応方針（案）

- 速達便の運営に係る収支状況を踏まえ、収支欠損の縮減に向けた方策について検討する。
- 利用実態に応じた費用負担の公平性を確保する観点から、沿線自治体等との費用負担の在り方について協議を進める。
- 運賃設定や運行規模等について、収支改善の観点から検証を行い、必要に応じた見直しを行う。
- また、利用促進に向け、沿線自治体等と連携した周知の取組を強化し、利用者の拡大を図る。

課題 2 広域的運営体制の構築に関する課題

(1) 課題の概要

- 速達便は留萌市民に加え、沿線自治体等からの利用も一定程度確認されており、実態としては広域交通として機能している。
- 一方で、留萌市単独事業として実証運行を継続してきたことから、広域的な利用実態に対応した制度設計や、沿線自治体等との協議の枠組みは、これまで十分に構築されてこなかった。
- このため、速達便を広域交通として持続的に維持していくためには、沿線自治体等との協議を通じて、地域全体の移動手段としての位置付けを明確化するとともに、沿線自治体等を含めた運営体制および費用負担の仕組みを構築する必要がある。

(2) 背景・原因

- 速達便は、J R 留萌本線廃線後において、旭川方面への移動環境の向上を図り、既存公共交通を補完することを目的とした新たな交通体系として導入されたが、導入当初は留萌市民の利用を主眼として制度設計が行われた。
- 実証運行を継続する中で、利用が沿線自治体等に広がっていることが確認されたものの、事業の位置付けや費用負担の在り方について、広域的な観点からの整理は十分に行われてこなかった。
- また、速達便の広域的な役割や必要性について、沿線自治体等の間で共通認識が十分に形成されておらず、その結果、広域的な制度設計や運営体制の構築に向けた検討が進んでこなかった。

(3) 対応方針（案）

- 速達便の役割について、留萌市単独事業にとどまらず、管内全体の移動を支える広域的な交通手段として位置付ける方向性の下、沿線自治体等との協議を行い、関係自治体間において、広域交通として維持していく方向性について一定の合意形成が図られている。
- 一方で、具体的な費用負担の方法や役割分担、意思決定の枠組み等については、整理途上にあることから、広域的な運営体制の構築に向けて、引き続き制度設計の検討を進める。
- あわせて、利用実態および運行コストを踏まえ、広域的な運営体制の下で求められるサービス水準のあり方について検討を行い、持続可能な運行形態の確立に向けた方向性を整理する。

課題3 現行サービス水準のあり方に関する課題

(1) 課題の概要

- 速達便は、旭川方面への移動時間短縮や、既存公共交通の補完という点で一定の成果を上げている一方、現行の運行便数、ダイヤ、停留所配置等のサービス水準は、導入時の前提条件に基づいて設定されたものであり、現在の利用実態や多様化する利用ニーズとの間に一定の乖離が生じている。
- また、サービス水準の見直しを行う場合には、利用者利便性の向上と運行体制の持続性との両立が課題となる。
- このため、速達便の役割や対象とする利用需要を踏まえ、現行サービス水準の妥当性について改めて整理・検討する必要がある。

(2) 背景・原因

- 速達便は、主に旭川方面への速達性を重視して設計された。
- その結果、移動時間の短縮という点では高い評価を得ている一方、利用者層や利用目的の広がりに対して、サービス内容が必ずしも十分に最適化されているとは言い難い状況にある。
- また、速達性を重視した運行形態は、便数や経路地の柔軟な設定を難しくする側面があり、利用ニーズとの間に構造的なギャップが生じている。

(3) 対応方針（案）

- 利用実態および利用者ニーズを踏まえ、現行の運行便数、ダイヤ、停留所配置等のサービス水準について、速達性と利便性のバランスの観点から検証を行う。
- あわせて、運行に要する経費および費用負担の状況を踏まえ、サービス水準の維持・見直しの方向性について、事業の持続可能性および費用対効果の観点から整理を行う。
- 検証結果を踏まえ、現行サービス水準の維持を基本としつつ、サービス内容の重点化や機能の再整理など、財政的な持続可能性を考慮した運行形態のあり方について検討を行う。
- あわせて、広域的な利用実態を踏まえ、沿線自治体との協議の中で、速達便に求められるサービス水準および費用負担の考え方について共通認識の形成を図る。

4 今後の対応の方向性

前節において整理した課題及び対応方針（案）を踏まえ、次の方向性に基づき、段階的な改善を図る。

- ① 収支構造の改善及び費用負担の在り方の見直しに向けた検討
- ② 持続可能な運行に向けた広域的運営体制の構築
- ③ サービス水準の適正化に向けた検討

これらの取組については、利用状況、運行コスト及び利用者ニーズの変化を継続的に把握しながら、効果検証を行うものとする。

5 総括

本実証運行により、速達便はJR留萌本線廃線後における旭川方面への速達性を高め、既存公共交通を補完する新たな移動手段として、所要時間の短縮や利便性の向上に寄与し、通院や買物等、日常生活を支える交通手段として一定の役割を果たしていることが確認された。

また、留萌市民に加え、沿線自治体等からの利用も一定程度確認され、速達便が留萌市単独の交通施策にとどまらず、管内全体の移動需要に基づく広域的な交通手段として機能している実態が明らかとなった。

一方で、現行の運行形態においては、運行費用が収益を上回る状況が継続しており、留萌市単独の負担を前提とした事業継続は財政的に持続困難であることが確認された。

こうした認識の下、沿線自治体等との協議を通じて、速達便を留萌市単独事業ではなく、広域交通路線として維持していく方向性について、関係自治体間において一定の合意形成が図られている。

以上のことから、速達便は、今後は留萌市単独事業としてではなく、管内全体の移動需要に対応する広域交通として位置付け、沿線自治体等による費用負担を前提とした広域的な運営体制の下で維持していくことが妥当である。

また、利用実態および利用者ニーズを踏まえ、現行サービス水準のあり方について継続して協議を行い、速達性・利便性・運行コストの関係を踏まえながら、持続可能な運行体制の構築に取り組んでいく必要がある。

参考資料

■ 自由記載

区分	内容
便数 (ダイヤ)	便がもっとあればいい。
	運賃が多少上がってもいいので、便数を増やしてもいいのではないかと思います。増やすことができなくても、特急あさひかわ号は残してほしい。
	運行の本数を増やしてほしい。
	上平から旭川までの便数が増えれば良いとは思いますが、人口減少で仕方ないかなとも思います。
	一便だけの直通ではなく、もう一便でも増やしてほしい。
	小さい車両でもいいので、早い時間の便を増やしてほしい。 (毎月の通院で使用しているのので。)
	もっと本数を増やしてほしい。
	帰りの便、1時か2時くらいにあると大変助かります。
	便数を増やしてほしい。
	便数を増やしてほしい。せめて、朝・昼・夜の3便はほしい。
	本数を増やしてほしい。
	通院のために早い時間の便もあると良い。
	留萌発を昼から1本増やしてほしい。
	本数が少ない。
	生活する上で大変助かります。便数を増やしていただけると幸いです。
	できれば、1日2便にしてほしいです。
	旭川→羽幌号は、土日のみ走らせてほしい。買物で旭川から乗る方も多いと思います。
	週末のみでもあと1、2本増えるとありがたい。
	便数を増やしてほしい。
	一日二往復にしてほしい。
往復1便のため、便数が少ない	

区分	内容
便数 (ダイヤ)	フェリー着後にも直行便があると便利です。羽幌発が午後からもあると便利ですよ。
	旭川発の便を2、3本増やしてほしいです。
	フェリーとつながる便があると良い。
	運行数を増やしてほしい。せめて朝の便(8:53)とお昼の便があればとても助かります。あと旭川発もお昼の便と今の3:55の便があれば嬉しいです。
	乗り換えが面倒かも!!なので1本じゃなく増えたらいいかなと思いました。
	もう一便出したほうがいいんじゃないかな。
	便数を増やしてほしいが無理ですね。
	もう少し本数を増やしてほしい。
	旭川駅まで短時間で移動できるのでとても嬉しいです。本数が増えれば良いと感じました。
	今の時間帯の外にもう一便あると嬉しい。
	便数を増やしてほしい。
	増便希望、特に夜便があれば利用したい。
	お昼の時間帯にも特急便があるとありがたいです。(往復で)夜もあると出張での利用がしやすいです。
	便数を増やしてほしい。各駅停車便より利用者が多い気がします。各駅→特急に朝一便の変更希望。
	増便してほしい。また、路線維持のためなら値上げを検討してもいいと考える。
	運行便数が増えたら嬉しいです。
	便数があと1、2本でも増えると利用しやすくなると思います。
	現状では厳しいとは思いますが、運行本数を1日2往復の体制にするとより使いやすくなるのではないかと思います。
	羽幌から旭川の午後便と旭川から羽幌の午前便があれば便利です。
	羽幌から旭川のバスが朝早くしかない。ほかの乗り換えのバスも午後便が少ないため、午後便があったらとても便利です。

区分	内容
便数 (ダイヤ)	最終時間に変更。本数1便増やしてほしい。高速便や下を通る便も1時間内をお願いしたい。
	留萌合同庁舎前の発時間を8:53→9:00頃にしてほしい
	復路便の時間を17:00台などもう少し遅くしていただくと出張等で利用しやすくなります。休日であればショッピングやレジャーにも利用が増えると思います。
	行きの旭川駅前到着時刻を10時にしてほしいです。通学で利用させていただいているのですが、現在の時間では登校に間に合わず、10時にしていただけたらとても助かります。いつも長距離での運転お疲れ様です！！
	休日15時以降、留萌から羽幌方面へ帰れないので困っている。
	10月の時刻改正で増毛からだ乗り継ぎが不便で困る。
	15:55のバスより遅い便がほしい。(帰り) 8:45のバスより早い便がほしい。(行き)
	8時～9時にしてほしい。
	旭川発の最終便の時間をもっと遅くしてほしい。
	帰りの発車時刻をあと30分くらい遅い時間だと助かります。
	帰りの時間を少し早めにしてほしい。
	帰りの旭川発が、もう少し遅いと助かります。
	病院からの時間がぎりぎりなのでもう少し遅くしてほしい。
	旭川医大病院乗り組のため40分早く出発してほしい。
	旭川医大に行くとき、旭川市バスへの乗り換えバスまで走って行っても間に合わないことがある。トイレに行く時間が欲しい。また帰りの時間が早すぎる。せめて16時30分くらいなら乗れる
上平から帰るとき、バスがない。	
旭川発の便をもっと遅い時間にしてほしい。	

区分	内容
路線 (停留所)	開運町にも停まってほしい。
	とても気に入っている路線ですが、留萌市内（開運町、錦町、十字街等）でも乗車できるとありがたいです。市内バスで接続してもらえるととてもありがたいです。
	羽幌～旭川だけでなく豊富～旭川を増便してほしい。特急便に関して。
	留萌市内、十字街も通過してもらえたらいいと思う。
	錦町とかも回ってほしい。
	主要ポイントを選び、全体的にスピードアップ。
	本社、羽幌ターミナルへ帰るのが不便。南町に停車してほしい。
	ポイント（拠点）がズレている。
	旭川便（快速）の乗車場所を増やしてほしい（遠別発着便）。運行本数を増やしてほしい。
継続	無くなると非常に困る。利用して応援したいが、機会が年に数回しかなくそれも難しい。何とか継続してほしい。
	この路線を利用して通院しています。この路線が無くなると通院も困難になってしまいます。無くならない事を望みます。
	特急あさひかわ号がなくなると大変困ります。冬の時期は危ないので特にバスを利用してます。ぜひ、続けて下さい。
	苦しいと思うが、なんとか維持してほしい。
	旭川の病院へ通院しているので、すごく助かっています。来春以降も運行をお願いします。
	特急あさひかわ号が無くなると非常に困ります。3年後以降も料金が上がってもいいので、ぜひ継続して運行してほしい。
	天塩～旭川間は JR を利用するにも不便だし、この便は早い時間に旭川につき、時間的にも余裕があるので、なくさないでほしい。
	いつも帰省の時に利用しています。エアドゥ昼の便からの接続がいいのでなくなるとかなりきついです。
	1日1本でもあると便利です。
	年に1～2回の利用ですが、なくなると不便です。

区分	内容
継続	羽幌⇄旭川線は継続運行をお願いします。無くなると大変不便です。通院に困ります。
	この旭川線は大変便利です。時間、降車場所ともに満足しています。これからも運行してください。
	この便がなくなったら病院通いが大変になります。今はすごく助かっています。
	車輛がなかなか良い。ずっと続けてほしい。
	旭川の病院に通うときにとても便利なので、このまま存続してほしい。
	普通路線も減便になり大変不便です。特急あさひかわ号ぐらいは今まで通り運行してください。
	大変助かっています。病院に通院しています。無くなればどうしよう。
	存続してほしいです。回数券を復活させてもいいのではないかと思います。
感謝 (意見なし)	乗車人数が少なく気の毒な気持ちでいます。運転手さんは親切で旭川へ行く時はほとんどこの便でゆったりした気分に乗っています。いつもありがとうございます。
	1時間半かからず旭川に着くのが嬉しい。
	間に合えばとても都合がよい。
	たまにしか利用しませんが、時間的にとても便利。
	車に乗らない者にとっては利用しやすくありがたいです。
	予約なしで乗れるのがとても便利です。助かります。
	この路線ができて助かっています。帰省の際、旭川空港が利用できるようになり、札幌より時短で実家に帰省できます。
	留萌駅前まで行くのでよかった。
	満足。 いつもは札幌からバス（はぼろ号）を使っていましたが、今回は初めて乗ってみました。すごく便利です。土地勘のない出張者にはありがたいです。

区分	内容
感謝 (意見なし)	私の利用としては、自分にあっていると思います。買物等あちこち駅前を見て歩き、気晴らしに一人で出歩くには満足。たまに利用します。
	通院でも利用しているのでとても助かっています。いつもありがとうございます！！
	運転手さんが優しくてよかったです。増毛から留萌行きのバスに乗った後、このバスが数分で来るのでありがたいです。
	この路線があるのでとても助かっています。
	孫に会うために留萌に数か月に一度来ます。そのたびに空港まで来てもらうのは大変で、バスがあることで安心して来られる。
	このバスは乗っている時間が短いので、高齢者にとってはありがたい。
	今回レンタカーで稚内方面に行こうとしたところ鹿とぶつかり、苫前町で宿泊することになりました。結局旭川方面に行くこととなり、今回沿岸バスの便がありとても助かりました。
	この路線があってよかったです。
	旭川便があってとても助かっています。
	このままで良い。
	高速を利用するので、他の路線より 30 分早く着くのでありがたい。
	車を持っていないので助かっています。ありがとうございます。
	Wi-Fi とキャッシュレス対応なのありがたい。
	今のままで大丈夫です。
	留萌からだど、病院の診療時間に間に合う時間帯だと思います。
	羽幌に行くのに毎月あさひかわ号を使っています。
しばらくぶりに乗ったので路線が変わっていました。慣れないね。	
改善してほしいところはない。	

区分	内容
その他	往復割引があっても良いのでは。
	運賃を安くしてほしい。
	Wi-Fi があったらうれしい。
	キャッシュレス決済の方が安いですが、毎回ドライバーの方が苦勞している様子があり使いづらいと感じる。
	たまに Wi-Fi や充電ができないときがあるので、改善してほしい。
	車内にブランケットを設置してほしい。
	支払い時、少し時間がかかるため、降りるときに後に並んでしまいます。
	料金支払い時、千円札を1枚ずつ差し込むのが大変。
	機械での支払いは時間がかかり降車時に人が並びます。バスの乗り継ぎに間に合うか心配です。機械はだめです。
	USB は使えないのですか？
	免許返納でバスデビューしたばかり、バスの時刻表をわかりやすくしてほしい。
	留萌市内バスとのアクセス。
	現実証運行前は、幌延から旭川までの往復快速便がありました。日帰り通院していたので大変助かりました。今は、発時間も早く羽幌で乗り換えをしています。以前の運行体制に戻して下さい。
	バスの中にトイレがありますが、途中でトイレタイムがあれば良い。
	トランクの中に荷物を入れてほしい。車内持ち込みは、荷物が重いと持てない（キャリーバック）。運転手も手を貸してくれる人とそうでない人がいる。
	留萌の場合は大きいバスではなく、小さいバスでの運行はどうですか？
バスが運休になった時の確認先。	
乗客数にあった車輛にしては？予めネットでの予約制の導入。	

区分	内容
その他	<p>乗り継いで初山別温泉に行きますが、乗り継げる明確なアナウンスが公式ツイッターのつぶやきしかなかったので、ちゃんと明記してほしいです。</p> <p>降りる場所が伝えるのがめんどくさい。</p> <p>介護の人と乗る時障害割が分かってない運転手さんがいる、それは困る。</p> <p>いつも沿岸バスにはホントにお世話になっております。</p> <p>大変かと思いますが頑張してほしいとおもいます。</p>

留萌旭川速達便利用者アンケート調査票

この度は「留萌旭川速達便(特急あさひかわ号)」をご利用いただきありがとうございます。



←こちらの「QRコード」からも回答可能です。
※紙かQRコードかどちらか一方でご回答ください。

本路線は、新たな交通体系の一環として、旭川への速達性を高めることを目的に、1日1往復、令和5年度から令和7年度まで、実証運行しています。

今後の運行の方向性を検討するにあたり、利用者の皆様のご意見・ご要望を伺うためのアンケート調査を実施いたします。

所要時間は数分程度です。いただいた回答は統計的に処理し、個人が特定されることはありませんので、ぜひ率直なご意見をお寄せください。

※期間中、1度のみご回答ください

■あなた自身についてお伺いします。

問1. ご年齢を教えてください。(「○」は一つ)

- ①10歳代 ②20歳代 ③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代
⑥60～64歳 ⑦65～69歳 ⑧70～74歳 ⑨75歳以上

問2. お住いを教えてください。(「○」は一つ)

- ①留萌市 ②小平町 ③苫前町 ④羽幌町 ⑤旭川市 ⑥その他()

問3. 自動車を所有していますか。(「○」は一つ)

- ①自分用の自動車がある ②家族共用の自動車がある ③所有していない

問4. 外出する際の主な移動手段を教えてください。

(「○」は一つ、その他は()に記入)

- ①自動車(家族の運転含む) ②自転車 ③徒歩 ④バス
⑤タクシー ⑥その他()

問5. 普段からバス(本路線以外を含む)を利用していますか。(「○」は一つ)

- ①毎日利用している ②週に数回利用している ③月に数回利用している
④年に数回利用している ⑤ほとんど利用していない

(裏面へ)

■留萌旭川速達便についてお伺いします。

問6. 今回、利用された路線を教えてください。(「○」は一つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| ①羽幌発 ⇒ 旭川着 便 | ②旭川発 ⇒ 羽幌着 便 |
|--------------|--------------|

問7. 今回、乗車した停留所名を教えてください。(記入)

【乗車した停留所名】

問8. 降車予定の停留所名と目的地を教えてください。(記入)

【降車予定の停留所名】	【目的地】

問9. 今回、主にどのような目的で利用されましたか。

(「○」は一つ、その他は()に記入)

- | | | | |
|-----|----------|----------|--------------------|
| ①仕事 | ②通学 | ③通院 | ④買い物 |
| ⑤飲食 | ⑥観光・レジャー | ⑦帰省・友人訪問 | ⑧その他() |

問 10. 今回、往復で利用されましたか。(利用の予定も含む)(「○」は一つ)

- | | | |
|----------|------------|------------|
| ①往復で利用した | ②行きのみで利用した | ③帰りのみで利用した |
|----------|------------|------------|

└─ 問12 へ

└─ 問11 へ

問11. 問10で②又は③を選択された方にお伺いします。

もう一方の移動手段を教えてください。

また、往復で利用していない理由を教えてください。(「○」は一つ)

【もう一方の移動手段】
①自家用車(家族等の運転) ②バス ③タクシー ④その他()
【往復で利用していない理由】
①時間に合う便がないから ②乗り継ぎが不便だから ③目的地が複数あるから ④送迎してもらえるから ⑤他の交通手段があるから ⑥その他()

(2枚目へ)

問12. この路線の利用頻度を教えてください。(「○」は一つ)

- ①今回が初めて ②たまに利用 ③週に1~2回程度 ④週に3回以上

問13. この路線がなかった場合、代わりにどのような手段で移動しましたか。
(「○」は一つ、その他は()に記入)

- ①自家用車 ②バス ③タクシー ④移動しなかった
⑤その他()

問14. 今後、この路線がなくなった場合、不便になると感じますか。
(「○」は一つ、その他は()に記入)

- ①とても不便になる ②やや不便になる ③どちらとも言えない
④あまり不便にならない ⑤全く不便にならない

問15. この路線の今後の利用意向について教えてください。(「○」は一つ)

- ①積極的に利用したい ②たまに利用したい ③どちらとも言えない
④あまり利用しない ⑤全く利用しない

問16. この路線の満足度を教えてください。(各項目に「○」は一つ)

区分	不満	やや不満	どちらとも言えない	満足	とても満足
運行ルート	1	2	3	4	5
運行時間帯	1	2	3	4	5
運行便数	1	2	3	4	5
所要時間	1	2	3	4	5
運賃	1	2	3	4	5
車内の快適さ	1	2	3	4	5
利用しやすさ	1	2	3	4	5
総合満足度	1	2	3	4	5

(裏面へ)

問17. この路線について、改善してほしい点やご要望、ご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。(自由記入)

■公共交通全般についてご意見・ご要望をお伺いします。

問18. 留萌市の公共交通は利用しやすいと思いますか。(「○」は一つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| ①とても利用しやすい | ②やや利用しやすい | ③どちらとも言えない |
| ④やや利用しにくい | ⑤とても利用しにくい | |

上記を選択した理由をご記入ください。

問19. 留萌市の公共交通について、不便に感じる点や改善してほしい点がありましたら、ご自由にご記入ください。(自由記入)

問20. その他、公共交通全般について、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。(自由記入)

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

この調査票は、降車時に乗務員にお渡しください。

アンケート問い合わせ先:留萌市政策調整課 TEL 0164-42-1809